

科目名 (科目番号)	臨床検査医学演習 (102702)	教員名 難波 俊二	学科等	臨床検査	選択	履修年次	2
			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
			オフィスアワー		木13	B201研究室	
授業概要	臨床医学総論、臨床検査医学総論の履修を踏まえ、総合的な知識や理解力を高めるために選択科目で再履修することで、十分に納得し身につけることができる。また、Reversed Clinicopathological Conference (R-CPC) 形式の授業により、検査結果を読む力が身につく。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	臨床検査医学概論	到達目標: 検査結果から病態把握や臓器障害の有無を検討するのに必要な知識を習得する。 学習内容: 臨床検査医学の概念と検査結果の解釈に必要な統計学を学ぶ。				
	2	内分泌疾患	到達目標: 当該症例の検査結果から病態把握や臓器障害の有無を検討する。 学習内容: 代表的な内分泌疾患の症例を提示して、R-CPCにより、その検査結果から病態把握や臓器障害の有無を検討する方法を学ぶ。				
	3	呼吸器疾患	到達目標: 当該症例の検査結果から病態把握や臓器障害の有無を検討する習慣を身につける。 学習内容: 代表的な肺疾患の症例を提示して、R-CPCにより、その検査結果から病態把握や臓器障害の有無を検討する方法を学ぶ。				
	4	消化器疾患	到達目標: 当該症例の検査結果から病態把握や臓器障害の有無を検討する習慣を身につける。 学習内容: 肝・胆・膵・消化管疾患の症例を提示して、R-CPCにより、その検査結果から病態把握や臓器障害の有無を検討する方法を学ぶ。				
	5	腎・尿路疾患	到達目標: 当該症例の検査結果から病態把握や臓器障害の有無を検討する習慣を身につける。 学習内容: 腎・泌尿器疾患の症例を提示し、R-CPCにより、その検査結果から病態把握や臓器障害の有無を検討する方法を学ぶ。				
	6	感染症	到達目標: 当該症例の検査結果から病態把握や臓器障害の有無を検討する習慣を身につける。 学習内容: 感染症の症例を提示して、R-CPCにより、その検査結果から病態把握や臓器障害の有無を検討する方法を学ぶ。				
	7	循環器疾患	到達目標: 当該症例の検査結果から病態把握や臓器障害の有無を検討する習慣を身につける。 学習内容: 循環器疾患の症例を提示し、R-CPCにより、その検査結果のみで病態把握や臓器障害の有無を検討する方法を学ぶ。				
	8	総括	到達目標: 検査結果から病態把握や臓器障害の有無を検討するために必要な検査項目を答えられる。 学習内容: 1から7回で提示した各種疾患について、それらの検査結果を読むために必要な知識を整理する。				
成績評価の方法・基準	期末試験 (100%)						
教科書	最新臨床検査学講座 臨床医学総論／臨床検査医学総論		奈良信雄、高木 康ほか		医歯薬出版		
参考図書							
教員からのメッセージ	R-CPCは検査結果について学生と教員とで討論しながら授業を進めます。そのため、相手からの質問を理解することや自分の考えを端的に述べるなど、いわゆるコミュニケーション能力も涵養されますので、ご期待下さい。						